

技術教育研究会 第59回全国大会 姫路大会案内

国民のための 技術・職業教育の創造を！

～ すべての子ども・青年を持続的発展可能な社会の主人公に ～

日時:2026年8月1日(土)～3日(月)

会場:姫路市地場産業センター「じばさんびる」

〒670-0962 姫路市南駅前町 123 番地

電話 079-226-3560

主催:技術教育研究会 後援:独立行政法人教職員支援機構 兵庫県教育委員会 姫路市教育委員会

記念講演

人々の生活を支える宇宙 IoT の時代 ～求められる技術・職業教育～

秋山 演亮 (和歌山大学 教授/宇宙政策・固体惑星・宇宙教育)

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
大会日程	1日(土)				受付	開会集会 記念講演		実技・ 理論講座		実技・ 理論講座			
	2日(日)	内容別分科会 (A・B合同)			昼食	内容別分科会		総会		情報交換会			
	3日(月)	問題別分科会			閉会 集会								

姫路大会へのお誘い

大会実行委員長 井上 真求 (京都女子大学)

技術教育研究会第59回大会を兵庫県姫路市で開催します。昨今の国際社会の変化は、私たちの日常や子どもたちの未来にまで大きな影響を及ぼしています。教室で子どもたちに何を伝え、何を教えていくのか、教育のあり方そのものが改めて問い直されています。今、全国の技術・職業教育に携わる仲間が集い、交流することが大きな力になると思います。

江戸時代には城下町として発展した姫路は、瓦などの窯業や皮革産業が栄え、今でも地場産業として受け継がれています。明治期以降は、1888年の山陽鉄道開通を契機に工業都市として発展し、とくに姫路市南西部には、日本製鉄やダイセルなどの工場が集積する日本有数の工業地帯があります。

技術・職業教育について語り合うにふさわしい、この「ものづくりのまち」で、すべての子どもたちが明るい将来を描けるように、わたしたちが今できることを議論し共有する大会にしたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

技術教育研究会

代表委員:尾高 進(工学院大学)

事務局長:疋田 祥人(大阪工業大学)

事務局:〒535-8585 大阪府大阪市旭区大宮5-16-1 大阪工業大学

TEL:06-6954-4359 Email:yoshito.hikida@oit.ac.jp

Webサイト:<https://gikyouden.com/index.html>

基調報告:技術教育研究会常任委員会

記念講演:人々の生活を支える宇宙 IoT の時代 ~求められる技術・職業教育~
秋山 演亮 (和歌山大学 教授/宇宙政策・固体惑星・宇宙教育)

実技・理論講座(前半4講座:16:00~17:30 後半3講座:18:00~19:30)

前半

理論講座① オンライン参加も可能

次期学習指導要領の検討動向にみる今後の諸課題

深井 もも(大阪工業大学)
平舘 善明(帯広畜産大学)
石橋 直(福岡教育大学)

現在、中教審にて、「情報・技術科」の新設・再編、「探究的な学び」の実装、各学校でのカリキュラム・マネジメントによる教育課程の柔軟化等の検討が進められています。こうした検討動向を共有しながら、技教研での冬季研や公開研での成果をもとに、今後の理論的・実践的諸課題を見通していきます。

理論講座② オンライン参加も可能

授業・教育活動をきっかけにして 学外とつながっていく

沼田 和也(同志社中学校)

栽培実習にて、地元の農家・起業家・SNS を総動員して、授業を拡張する、機械工作にて外国人・海外交流をつなげる、土建屋と3Dプリンターをつなげるなど、改良していく実践を紹介しながら、日頃のアンテナの貼り方、改良する手立ての発想を考えます。

実技講座① 定員:10名 参加費:2,000円

マイコンで制御する FM ラジオの製作

荻野 和俊(元工業高校教員)

近年のラジオは DSP(デジタル信号処理)で、信号を直接デジタル変換してソフトウェア処理します。この DSP ラジオ基板をマイコンで制御する実技をします。マイコンをはじめとした材料はすべて用意し、持ち帰ることができます。PCが必要です。参加者には事前に準備の連絡をします。

実技講座② 定員:10名 参加費:1,200円

ブラダンで作る簡単 3ch リモコンとフォークリフト(ロボット)

早稲田 一嘉(神戸市立工業高等専門学校)

「エネルギー変換技術による問題解決」の製作例と同じような動作が可能な「フォークリフト(ロボット)」と「3ch リモコン」を身近な材料で作製します。簡単に製作可能なリンク機構とモーターの正転逆転制御が可能なりモコンは他に応用可能でしょう。(おまけ:風船とコーヒー豆を使った UG ハンド)

後半

理論講座③ オンライン参加も可能

これでいいの!? 2030年の技術室

大藤 泰生(関西学院中学部)

阪神地域の私立学校における技術室の現状を紹介し、参加者からの事例も共有します。先進的な取り組みから危機的な状況まで幅広く取り上げ、現場のリアルを多角的に把握。その上で、共有された知見をもとに、これからの技術室のあり方を共に考えるワークショップです。

理論講座④ オンライン参加も可能

米国カリフォルニア州の職業教育改革

西 美江(関西女子短期大学)

本理論講座では米国カリフォルニア州の職業教育改革を取り上げ、特徴であるアカデミックな教育との統合カリキュラムを取り上げます。その上で、専門高校に関する言及も多い文部科学省『高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)』(2026)の批判的検討を試みます。

実技講座③ 定員:20名

デジタルファブ리케이션入門

辰巳 育男(大阪工業大学)

ものづくりの世界で急速に広がる3D プリンタとレーザーカッターの安全な取り扱いに関する初学者向けの講座です。実際の3Dプリンタに触れながら、材料の管理やセッティング方法、3Dモデルの作り方などについて体験します。「TinkerCAD」が使用できる環境をご持参いただくと実際にモデルを作ることができます。

前半4講座および後半3講座のなかからそれぞれ1講座ずつ、計2講座まで受講することができます。

定員がある講座については、申込先着順となります。

理論講座のみオンライン配信します。

第2日目 2日(日)

内容別分科会(9:00~16:00)

合同分科会を行った後、A・Bに分かれて以下の内容を行います。いずれもオンライン配信します。オンライン発表も可能です。

A 小学校・中学校の技術教育 代表世話人:佐藤守、深井もも、青木麟太郎、坂田桂一

●分科会テーマ つくことで学ぶ、つくことで変わる

子どものものづくり、教師の授業づくり、そして参加者全員による分科会づくり。今年度は、この3つの「つくる」を重ねる場を目指します。レポーターには、実践の内容だけではなく、子どもの姿や変化を中心に、それを受けて教師自身がどう感じ、どう変わったかを語っていただきます。今回はその報告を聴くだけでは終わりません。分科会づくりとして、一人ひとりが校種や領域を越えて語り合い、新たな気づきをともに作り出す場にしたいと考えております。技術教育を取り巻く状況に、小さくはない変化が到来しつつある今だからこそ、これまで大切にしてきた「子どもの姿や成長に基づいた」検討を通じ、根っこの部分を確認しませんか。

B 高校・高専・高校後の技術・職業教育 代表世話人:高岩千尋、竹谷尚人、辰巳育男

●分科会テーマ 教育実践を柱として全国の先生方との交流を深めよう

高等学校、高等専門学校、大学、専門学校を主な対象として、現場における授業実践や教育活動について討議します。討議を通して参加者同士の交流を深めてまいりたいと思います。普段の教育活動を活発に語り合いましょう。下記のテーマでレポートを募集します。特に工業高校の授業づくりに関するレポートが不足しています。短いものでも構いませんので、ぜひお寄せいただけると大変助かります。

※主なテーマ①工業高校の現場で困っていること、取り組んでいること ②工業高校の授業づくり ③工業教員免許の教員養成 ④保護者、生徒、外部から工業高校に期待すること⑤工業高校以外の専門高校、工業情報科、高専、大学、諸外国のレポート

総会(16:30~17:30)

1年間の活動を振り返り、次年度の活動方針を検討します。
オンライン参加も可能

情報交換会(18:00~20:00)

夕食を兼ねて参加者全員で情報交換を行いながら交流を深めます。

第3日目 3日(月)

問題別分科会(9:00~11:00)

C 技術史と教育

[長谷川雅康、石田正治、竹谷尚人]

オンライン参加も可能

技術史の教材化により学習が身近になり、豊かになる事例を交流するほか、外国の博物館等の見聞を共有します。今回も日本技術史教育学会との共催。各地の産業遺産、授業実践報告を募集中です。オンライン参加対応の予定(問い合わせ:竹谷 hisato.takeya@gmail.com)

D 諸外国の技術・職業教育

[横尾恒隆、木下龍、西美江、深井もも]

オンライン参加も可能

日本の技術・職業教育について論じる際に、国際的な動向を無視するとはできません。諸外国の技術・職業教育の動向を知ることにより、日本の技術・職業教育の特徴や問題点がみえてきます。この分科会では、特定の1~2ヶ国を対象としたレポートの報告とそれに基づく討議を通して、諸外国の技術・職業教育の動向について検討します。

E 子ども・青年の発達と技術・職業教育

[坂田桂一 直江貞夫 平館善明]

オンライン参加も可能

今日の閉塞感漂う社会に生きている子ども・青年たちは、何に悩み、苦しんでいるのだろうか。何が彼らの発達を阻害してしまっているのだろうか。私たちは技術・職業教育に携わる立場から、今日の子どもの青年を見つめ、彼らの思いや願いに寄り添いながら、彼らの健やかな発達を促す手立てを探っていきたい。

F 技術教育の授業づくり

[川俣純、依田実、笹倉千紗子、吉澤康伸]

オンライン参加も可能

今年もやりませ、教材交流!実践報告というほどではなくても、日々の授業の中で、ちょっとした教材の工夫をしている方はとても多いはず。F分科会では、みなさんの教材紹介をお待ちしています。可能であれば、ぜひ実物をお持ちください。難しい場合は、ノートPCやタブレットを使って写真や動画をプロジェクターで共有することもできます。

次頁へつづく

G 障害児・者の技術・職業教育

[井川大介、尾高進]

オンライン参加も可能

十分な経験がないまま特別支援学級等を担当することになり、右も左もわからず悩んでいませんか？この分科会はそうした人の悩みを共有し、相談できる場です。関心のある学生のみみなさんの参加をお待ちします。立場は関係ありません。一緒に実践的なことを学んでいきましょう。

H 技術・職業教育の教員養成

[高岩千尋、田中喜美、疋田祥人]

対面のみ

教員不足が叫ばれている近年、質の高い教員をいかに確保するかが大きな課題となっています。本分科会では、技術・職業教育の教員養成、採用、研修に関わる国内の政策動向や実践交流を行いたいと思います。この分野に興味・関心のある方はどなたでも歓迎いたしますので、是非ご参加ください。

閉会集会(11:30~12:30)

オンライン参加も可能

○内容別分科会の報告 ○参加者からの感想 ○大会総括

参加申込要領

■ 参加費

【対面参加】

- 会員（2日間または3日間参加）：5,000円
- 会員（1日のみ参加）：3,000円
- 会員外（2日間または3日間参加）：6,000円
- 会員外（1日のみ参加）：3,500円
- 退職者（2日間または3日間参加）：3,000円
- 退職者（1日のみ参加）：2,000円
- 学生会員（参加日数問わず）：2,000円
- 学生会員外（参加日数問わず）：2,500円

【オンライン参加】

- 会員（参加日数問わず）：3,000円
- 会員外（参加日数問わず）：3,500円

■ 宿泊先および宿泊費

●姫路駅前ユニバーサルホテル南口

〒670-0961 姫路市南畝町1-26

（姫路駅から徒歩3分、会場から徒歩1分）

8/1泊（8/1夕食 8/2朝食）：7,500円

8/2泊（8/2夕食 8/3朝食）：7,500円

※お部屋はすべてシングルとなります。

■ その他の飲食代

情報交換費：5,000円

8/2昼食代：1,500円

■ 参加申込方法

技術教育研究会 (<https://gikyouden.com/>) の大会特設サイトの参加申込ページで申込を行った後、指定の口座に参加費、宿泊費等をお振込みください。



参加申込は、参加費、宿泊費等のお振込みをもって完了といたしますので、期日までにお振込みいただくようお願いいたします。

参加申込(振込)期間：6月10日(水)から7月17日(金)

お振込み後にキャンセルをされた場合は、旅行会社規定と同様に扱います。

■ オンライン参加の注意

本大会は、対面参加を中心に計画しています。回線等の状況により十分な対応ができない場合があることをあらかじめご承知おきください。対面での参加申込をされた方には、オンライン参加のためのURL等もご案内いたします。

■ 発表資料について

今大会では、大会実行委員会で各分科会の発表資料の印刷等を行いません。

各分科会での発表を希望される方は、発表資料などの提出方法や印刷部数などを技術教育研究会 (<https://gikyouden.com/>) の大会特設サイトで必ずご確認ください。



■ 出張依頼状について

出張依頼状が必要な方は、返信用封筒（送付先を記入し、110円切手を貼付してください）を同封した手紙を大会事務局までご請求ください。

■ 荷物等の発送について

大会会場では、荷物のお受け取りができませんので、荷物をお送りされる場合は、宿泊先に宿泊日とお名前を備考欄にご記入のうえお送りください。

■ Wi-Fi 環境について

大会会場には、Wi-Fi 設備はありません。大会事務局でオンライン配信用のWi-Fi モバイルルータを用意いたしますが、参加者のみなさまは接続できませんので、ご了承ください。

■ 問い合わせ・連絡先

第59回大会事務局 疋田祥人

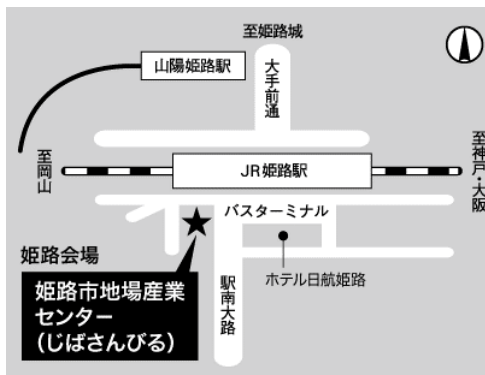
〒535-8585 大阪府大阪市旭区大宮5-16-1

大阪工業大学教職教室

TEL：06-6954-4359 FAX：06-6957-0610

Email：yoshito.hikida@oit.ac.jp

● 会場へのアクセス



会場には駐車場はありませんので、お車でお越しの場合は近隣の有料駐車場などをご利用ください。